# 算数オンライン塾６月９日の問題　解説

（解説）

（１）

アのとき点ＰはＢに到着しているので、20×２÷10＝４cm が台形の高さになります。
したがって台形の面積は（４＋10）×4÷２＝28$cm^2$

（答え）28$cm^2$

（２）

アからイは４÷２＝２秒間です。ＡからＢまでとＣからＤまでは距離は同じですが、速さの比は１：５ですから、かかる時間の比は５：１になるので８－２＝６秒からこれを５：１に分ければいいからアは５秒、イは５＋２＝７秒です。

（答え）ア　５秒　イ　７秒

（３）三角形 ADP の面積が 28÷２＝14$cm^2$ になるのは 14×２÷10＝2.8cm の高さになるときです。台形の高さは 4cm ですから、AB 間の 2.8÷４＝0.7 から
５×0.7＝3.5 秒後が１回目。
２回目はＣからＤが１秒なので、Ｃから１×（１－0.7）＝0.3 秒後になるので、
７＋0.3＝7.3 秒後が２回目になります。

（答え）3.5 秒後、7.3 秒後